

佐賀県職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成29年10月17日

佐賀県人事委員会委員長 中 野 哲 太 郎

佐賀県人事委員会規則第22号

佐賀県職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則

佐賀県職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則（昭和60年佐賀県人事委員会規則第11号）の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

| 改正前 | 改正後 |
|---|--|
| <p>(昇給日)</p> <p>第33条 略</p> <p>2 県職員給与条例第4条第6項又は学校職員給与条例第6条第6項に規定する昇給日前における同項の人事委員会で定める日は、昇給日前1年間における9月30日とする。ただし、これにより難しい場合は、任命権者が人事委員会の承認を得て定める日とする。</p> <p>(特定職員の昇給区分及び昇給の号給数)</p> <p>第36条 略</p> <p>2 特定職員の昇給区分は、第34条に規定する勤務成績の証明に基づき、当該特定職員が次の各号に掲げる特定職員のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める昇給区分に決定するものとする。この場合において、第3号又は第4号に掲げる特定職員に該当するか否かの判断は、人事委員会の定めるところにより行うものとする。</p> <p>(1) 勤務成績が特に良好である特定職員 <u>A</u></p> <p>(2) 勤務成績が良好である特定職員 <u>B</u></p> <p>(3) 勤務成績がやや良好でない特定職員 <u>C</u></p> <p>(4) 勤務成績が良好でない特定職員 <u>D</u></p> <p>3 次の各号に掲げる特定職員の昇給区分は、前項の規定にかかわらず、当該各号に定める昇給区分に決定するものとする。</p> | <p>(昇給日及び評価終了日)</p> <p>第33条 略</p> <p>2 県職員給与条例第4条第6項又は学校職員給与条例第6条第6項に規定する昇給日前における同項の人事委員会で定める日<u>(以下「評価終了日」という。)</u>は、昇給日前1年間における9月30日とする。ただし、これにより難しい場合は、任命権者が人事委員会の承認を得て定める日とする。</p> <p>(特定職員の昇給区分及び昇給の号給数)</p> <p>第36条 略</p> <p>2 特定職員の昇給区分は、第34条に規定する勤務成績の証明に基づき、当該特定職員が次の各号に掲げる特定職員のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める昇給区分に決定するものとする。この場合において、第3号又は第4号に掲げる特定職員に該当するか否かの判断は、人事委員会の定めるところにより行うものとする。</p> <p>(1) 勤務成績が特に良好である特定職員 <u> </u></p> <p>(2) 勤務成績が良好である特定職員 <u> </u></p> <p>(3) 勤務成績がやや良好でない特定職員 <u> </u></p> <p>(4) 勤務成績が良好でない特定職員 <u> </u></p> <p>3 次の各号に掲げる特定職員の昇給区分は、前項の規定にかかわらず、当該各号に定める昇給区分に決定するものとする。</p> |

| 改正前 | 改正後 |
|---|--|
| <p>(1) 人事委員会の定める事由以外の事由によって昇給日前1年間（当該期間の中途において新たに職員となった特定職員にあっては、新たに職員となった日から昇給日の前日までの期間。次号において「基準期間」という。）の6分の1に相当する期間の日数以上の日数を勤務していない特定職員（前項第4号に該当する特定職員及び次号に掲げる特定職員を除く。） <u>C</u></p> <p>(2) 人事委員会の定める事由以外の事由によって基準期間の2分の1に相当する期間の日数以上の日数を勤務していない特定職員 <u>D</u></p> <p>4 前項の規定により昇給区分を決定することとした場合に昇給区分が<u>C</u>又は<u>D</u>となる特定職員について、その者の勤務成績を総合的に判断した場合に当該昇給区分に決定することが著しく不適当であると認められるときは、同項の規定にかかわらず、あらかじめ人事委員会と協議して、当該昇給区分より上位の昇給区分（<u>A</u>の昇給区分を除く。）に決定することができる。</p> <p>5 前年の昇給日後に新たに職員となった特定職員又は同日後に第23条第3項、第26条第2項（第28条において準用する場合を含む。）若しくは第42条の規定により号給を決定された特定職員の昇給の号給数は、第1項の規定にかかわらず、同項の規定による号給数に相当する数に、その者の新たに職員となった日又は号給を決定された日から昇給日の前日までの期間の月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を12月で除した数を乗じて得た数（1月未満の端数があるときは、これを切り捨てた数）に相当する号給数（人事委員会の定める特定職員にあっては、人事委員会の定める号給数）とする。この場合において、この項の規定による号給数が零となる特定職員は、昇給しない。</p> <p>6 略</p> | <p>(1) 人事委員会の定める事由以外の事由によって評価終了日以前1年間（当該期間の中途において新たに職員となった特定職員にあっては、新たに職員となった日から評価終了日までの期間。次号において「基準期間」という。）の6分の1に相当する期間の日数以上の日数を勤務していない特定職員（前項第4号に該当する特定職員及び次号に掲げる特定職員を除く。） <u>—</u></p> <p>(2) 人事委員会の定める事由以外の事由によって基準期間の2分の1に相当する期間の日数以上の日数を勤務していない特定職員 <u>—</u></p> <p>4 前項の規定により昇給区分を決定することとした場合に昇給区分が<u>—</u>又は<u>—</u>となる特定職員について、その者の勤務成績を総合的に判断した場合に当該昇給区分に決定することが著しく不適当であると認められるときは、同項の規定にかかわらず、あらかじめ人事委員会と協議して、当該昇給区分より上位の昇給区分（<u>—</u>の昇給区分を除く。）に決定することができる。</p> <p>5 前年の昇給日後に新たに職員となった特定職員又は同日後に第23条第3項、第26条第2項（第28条において準用する場合を含む。）若しくは第42条の規定により号給を決定された特定職員の昇給の号給数は、第1項の規定にかかわらず、同項の規定による号給数に相当する数（<u>評価終了日の翌日から昇給日の前日までの間に新たに職員となった者又は当該号給を決定された者にあっては、人事委員会の定める数</u>）に、その者の新たに職員となった日又は当該号給を決定された日から昇給日の前日までの期間の月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を12月で除した数を乗じて得た数（1月未満の端数があるときは、これを切り捨てた数）に相当する号給数（人事委員会の定める特定職員にあっては、人事委員会の定める号給数）とする。この場合において、この項の規定による号給数が零となる特定職員は、昇給しない。</p> <p>6 略</p> |

| 改正前 | 改正後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------|--------|---|---|---|--------|-----|---|---|---|--|---|--|--|--|------|---|---|---|---|--|--|--|--|--|---|------|---|---|---|---|--------|-----|--------|---|---|--|---|--|--|--|------|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| <p>7 一の昇給日において第2項の規定により昇給区分をAに決定する特定職員の昇給の号給数の合計は、特定職員の定員等を考慮して人事委員会の定める号給数を超えてはならない。</p> <p>(一般職員の昇給区分及び昇給の号給数)</p> <p>第37条 略</p> <p>2 前条第2項から第7項までの規定は、一般職員の昇給区分及び昇給の号給数について準用する。</p> <p>別表第28の9 (第36条関係)</p> <p style="text-align: center;">特定職員昇給号給数表</p> <table border="1" data-bbox="235 798 1104 970"> <thead> <tr> <th>昇給区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昇給の号給数</td> <td>4以上</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">略</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 この表に定める上段の号給数は県職員給与条例第4条第8項又は学校職員給与条例第6条第8項の規定の適用を受ける職員以外の職員に、下段の号給数は同項の規定の適用を受ける職員に適用する。</p> <p>別表第28の10 (第37条関係)</p> <p style="text-align: center;">一般職員昇給号給数表</p> <table border="1" data-bbox="235 1345 1104 1401"> <thead> <tr> <th>昇給区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 昇給区分 | A | B | C | D | 昇給の号給数 | 4以上 | 3 | 2 | 0 | | 略 | | | | 昇給区分 | A | B | C | D | | | | | | <p>7 一の昇給日において次の各号のいずれかに該当する特定職員の昇給の号給数の合計は、特定職員の定員等を考慮して人事委員会の定める号給数を超えてはならない。</p> <p>(1) 第2項の規定により昇給区分を に決定する特定職員</p> <p>(2) 第2項の規定により昇給区分を に決定する特定職員であって昇給の号給数を4に決定するもの</p> <p>(一般職員の昇給区分及び昇給の号給数)</p> <p>第37条 略</p> <p>2 前条第2項から第7項までの規定は、一般職員の昇給区分及び昇給の号給数について準用する。<u>この場合において、同条第7項中「4」とあるのは、「5」と読み替えるものとする。</u></p> <p>別表第28の9 (第36条関係)</p> <p style="text-align: center;">特定職員昇給号給数表</p> <table border="1" data-bbox="1162 798 2031 970"> <thead> <tr> <th>昇給区分</th> <th>—</th> <th>—</th> <th>—</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昇給の号給数</td> <td>5以上</td> <td>2以上4以下</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">略</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 この表に定める上段の号給数は県職員給与条例第4条第8項又は学校職員給与条例第6条第8項の規定の適用を受ける職員(以下「昇給抑制職員」という。)以外の職員に、下段の号給数は昇給抑制職員に適用する。</p> <p>2 の昇給区分において上段の号給数に決定する職員の数割合については、人事委員会の定めるところにより決定するものとする。</p> <p>別表第28の10 (第37条関係)</p> <p style="text-align: center;">一般職員昇給号給数表</p> <table border="1" data-bbox="1162 1345 2031 1401"> <thead> <tr> <th>昇給区分</th> <th>—</th> <th>—</th> <th>—</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 昇給区分 | — | — | — | — | 昇給の号給数 | 5以上 | 2以上4以下 | 1 | 0 | | 略 | | | | 昇給区分 | — | — | — | — | | | | | |
| 昇給区分 | A | B | C | D | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 昇給の号給数 | 4以上 | 3 | 2 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 略 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 昇給区分 | A | B | C | D | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 昇給区分 | — | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 昇給の号給数 | 5以上 | 2以上4以下 | 1 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 略 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 昇給区分 | — | — | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 改正前 | | | | | 改正後 | | | | | |
|--|-----|---|---|---|---|-----------|-----|------------|---|---|
| 昇給の号給数 | 5以上 | 4 | 2 | 0 | 昇給の号給数 | 管理職員 | 6以上 | 3以上 5以下 | 2 | 0 |
| | 1以上 | 0 | 0 | 0 | | 管理職員以外の職員 | 5以上 | 4 | 2 | 0 |
| | | | | | | 昇給抑制職員 | 1以上 | 0 | 0 | 0 |
| 備考 この表の上段及び下段の適用については別表第28の9の備考の規定を準用する。 | | | | | 備考 1 「管理職員」とは、佐賀県職員の管理職手当の支給に関する規則別表第1に掲げる職にある職員のうち、昇給抑制職員以外の職員であって、次に掲げる給料表の区分に応じ、それぞれ次に定める級の適用を受けるものをいう。 (1) 行政職給料表 6級又は7級 (2) 公安職給料表 7級又は8級 (3) 研究職給料表 5級 (4) 医療職給料表(一) 3級 (5) 医療職給料表(二) 6級又は7級 (6) 医療職給料表(三) 6級 (7) 高等学校等教育職給料表 4級 (8) 中学校・小学校教育職給料表 4級 2 「管理職員以外の職員」とは、管理職員及び昇給抑制職員のいずれにも該当しない職員をいう。 3 の昇給区分において上段の号給数に決定する職員の数割合については、人事委員会の定めるところにより決定するものとする。 | | | | | |

附 則

この規則は、公布の日から施行する。